

ホッケー

岐阜朝日ク3冠

日本リーグ男子V

ホッケーの日本リーグ男子最終日は20日、東京・大井ホッケー競技場で

行われ、決勝は岐阜朝日クがリーベ栃木を退け、2年ぶり3度目の優勝を果たした。2-2からのシュートアウト(SO)戦を4-2で制した。全日本社会人選手権、全日本選手権と合わせて3冠

▽3位決定戦
天理大4-3立命館
▽決勝
岐阜朝日ク2-2リーベ栃木
(岐阜朝日クは2年ぶり3度目の優勝)

を達成。

岐阜朝日クはGK吉川貴史(26)らの好守で耐え、数少ないチャンスを生かした。0-1の第4クオーターにベナルティコーナー(PC)を山田翔太(25)が決め、1-

2の試合終了直前に得たPCから落合晴輝(24)が押し込んだ。SO戦は1人目の失敗後に4人連続で成功した。

激闘制し歓喜の涙

○：岐阜朝日クが激闘を制し、今季の全3大会を制覇した。日本代表でも司令塔を務める田中世蓮(28)「写真」がSO戦の5人目で成功させ決



着。歓喜の輪の中心となった主将は「簡単な道ではありませんでしたが勝つ瞬間に涙が出た」と感極まった。守勢に立つ時間が長かったが、第4ク

オーターにPCで2度追い付いた。DF山田は1点目を決めた後に右膝を負傷しながら奮闘。

終了間際の同点ゴールにも絡んだ。「やるべきことをやり通せた。東京五輪へ向け、さらにプレイングの精度を上げたい」と笑みを広げた。